

## 「連合国際労働戦略」10カ年行動計画表

目的	主体	具体的目標	短期(1-2年)	中期(3-5年)	長期(6-10年)
<b>(1) 職場・地域社会を運動の基本に(組織化の推進)</b>					
組織化の推進	連合、構成組織、GUFs	●組織化事例のケーススタディー	→		
	連合、構成組織	●組織化専任チームと連携した未組織の国内多国籍企業・サプライチェーンの組織化検討	→	→	
	連合、構成組織、GUFs	●サプライチェーンやバリューチェーンが生み出す付加価値を発信する		→	→
	連合、構成組織、GUFs	●多国籍企業の国内外における組織化状況の調査する		→	
<b>(2) 社会対話の確立</b>					
①国際労働運動を通じた国際的な社会対話の確立	ITUC、連合、GUFs	●ILOの三者構成主義、OECDの準三者構成主義のように、労働に関係する他の国際機関においても労働組合を含む社会対話のしくみを確立するべく、グローバルユニオンと連携した取組、および日本政府への要請を行う	→	→	
	ITUC-AP、連合、GUFs	●労働組合を含む社会対話のしくみが地域共同体の政府間会合に組み込まれるよう、グローバルユニオン、労組と連携した取組みおよび日本政府への要請		→	→
②対話・交流を通じた国際労働運動への戦略的参画	連合	●ITUC、ITUC-AP、ILO、GUFsなどへの役員やスタッフの派遣を計画的に進めるとともに、各種会議において従来以上に積極的な発言を行う	→	→	→
	連合、構成組織、GUFs	●アジア各国のリーダーや若手リーダーの招聘・研修プログラム検討		→	→
	連合	●アジア各国におけるキャパシティビルディングプログラム実施		→	→
	連合	●日本の労使協議の紹介やPOSITIVEプログラムなどの実施	→	→	→
	連合	●ドイツ、スウェーデンなどの中北欧、英米系、中国、韓国の労組とも連携する	→	→	
	連合	●アジア各国との二国間セミナーにおいて「日本の建設的労使関係」を紹介する	→	→	→
③日本の建設的労使関係の推進	連合	●日本の労使関係の特徴である労使協議制度、産業別労使会議、政労使対話などの紹介 ●春闘でのベアについての団体交渉など、各国に紹介できるツールを作成	→	→	
	連合、JILAF	●JILAFが作成している招聘プログラム用の日本の労使関係や生産性の取組みについて説明する資料の各国語バージョンを整備し共通で使えるようにする		→	→
	連合	●春季生活闘争でのベアについての団体交渉など、各国に紹介できるツールを作成する。	→		
	連合、構成組織	●労働基本権が制約されている下においても労使が話し合う取り組み事例を収集し、整備する ●雇用契約に拠らない新たな働き方についても注視し、随時情報収集と整理をする		→	→
<b>(3) 政策力の強化</b>					
	連合、構成組織、GUFs	●2018-2019運動方針に反映	→		
	構成組織、GUFs	●運動方針や活動方針への反映	→	→	
	連合	●「2018-2019年度 政策・制度 要求と提言」の中で、政府ODAでSDGsの目標8:ディーセント・ワーク推進に向けたプログラム実施を求める	→	→	

運動方針・政策制度要求への反映	連合	●ILOプログラムにおいてSDGs目標8の推進プログラムの強化を求める		→	
	連合	●日本の政労使が協力して実施すべきものの理論付けと政府への要請		→	→
	ITUC-AP、連合	●日本の政労使のコミットについて、アジア太平洋使用者連盟 (CAPE)への投げかけ			→
	ITUC、ITUC-AP、連合	●SDGsについての国連経済社会理事会 (ECOSOC)ハイレベル会合のフォローと、連合内、国際委員会での情報共有	→		
	ITUC、ITUC-AP、連合	●SDGsについてのアジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP)フォーラムなどのフォローと連合内、国際委員会での情報共有	→		
	連合	●SDGsの達成を目的とするNGO労組フォーラムとの連携および周知活動の強化	→		
	連合	●NGOと連携した全てのSDGsに関するステークホルダーとの連携	→	→	
	連合	●進捗状況確認のための好事例報告会の開催検討	→	→	

#### (4) 効果的なグローバル・キャンペーンの推進

経営側へのアプローチ	連合	●「多国籍企業の社会的責任と国際ルール」にSDGsを追加し、改訂版発行	→		
	連合	●分かりやすいリーフレットの作成	→	→	
	構成組織	●国内のサプライチェーン、バリューチェーンにおいて労働基本権が確保されているか等、未組織も含めたチェック		→	→
	政労使、労使	●多国籍企業における建設的労使関係構築に向けた取組み	→	→	
	連合	●ITUC、ITUC-APがグローバル・キャンペーンを推進する場合は連合も協力する	→	→	→

#### (5) キャパシティ・ビルディング

①人材育成	連合、構成組織、GUFs、JILAF	●「勉強会」開催	→	→	
	連合	●アジア太平洋地域からの招聘計画、欧米、北欧への派遣・研修の検討		→	
	連合	●政府、経営団体への働きかけ	→	→	
②POSITIVE	ITUC-AP、連合、JILAF	●労働組合主導・参加型の労働安全衛生トレーナー育成プログラム「POSITIVE」実施		→	→
		●生産性向上トレーナー育成プログラム「PROGRESS」実施 (対象: 労使協議の仕組みが整いつつある国)		→	→